

平成30年度

若手懇談会報告書

(公社)全国上下水道コンサルタント協会

関西支部

平成30年度 若手懇談会・プログラム

1. 日 時 平成31年4月23日(火) 10:00~17:00

2. 会 場 株式会社 日水コン 大阪支所 7F (第8会議室)

大阪府吹田市江坂町 1-23-101 大同生命江坂ビル

3. プログラム

(敬称略)

10:00	開会挨拶	関西支部長	北 秀文
10:05	I.本企画の説明	実行委員長	滝澤 茂
10:15	II.オリエンテーション	主講師	佐々木 隆
10:40	III.チーム自己紹介	各チーム代表	
ー 休 憩(11:10~11:20)			
11:20	IV.講演		
	・講演1:元大阪労働局 働き方休み方コンサルタント 社会保険労働士 宮田さん		
	(講演20分) 「働き方改革の推進について」		
	・講演2:日水コン 水道事業部 東京水道部 三迫さん		
	(講演20分) 「コンサルタントのワークライフバランス」について		
	・講演3:オリジナル設計株式会社 関西支店 営業部 田中さん		
	(講演20分) 「よりよい職場環境へ わが社の取り組み(案)」について		
ー 昼 食(12:20~13:20)ー			
13:20	V.チーム討議	実行委員	全員
	① 講演を踏まえた各チームのテーマ設定		
	(チーム作業・発表)		
ー 休 憩(14:20~14:30)ー			
14:30	V.チーム討議	実行委員	全員
	② ①で選定したテーマについてKJ法を用いた討議		
	(チーム作業・発表)		
16:00	クロージング	実行委員	全員
	(チームディスカッション・発表)		
16:40	全体講評	総務部会長	依藤 弘志
16:50	閉会挨拶	本部総務委員長	細谷 守生
17:00	アンケート記入		滝澤 茂
ー 休 憩ー			
17:30~19:30	懇親会		

I. 企画の目的・ねらい

急速に進展する少子高齢化、これに伴う労働人口の減少は、わが国の経済にも深刻な影響を及ぼす問題です。

国の政策である「一億総活躍社会」は誰もが活躍できる全員参加型社会であるが、成長と分配の好循環を生み出す「究極の成長戦略」には『働き方改革』や『生産性向上』への取り組みが必須となっています。

特に水コンサルタント会社では、40歳以上の技術者が7割を占めるといういびつな年齢構成のため今後の業務処理能力の急速な低下が懸念され、未だに納期の年度末集中が解消されず残業が減らないという現状です。

水コン協では、長期ビジョン中期行動計画の基本方針のひとつに「人材確保支援」を掲げ『魅力ある職場づくりに向けての啓発』が行動項目になっています。

このような背景の中、関西支部では昨年の「女性懇談会」の実績を活かし、若手社員の皆様に意見交換や情報共有していただく機会となることを目的として「若手懇談会」を開催し、会員各社の人材確保の一助となることを期待するものです。

II. 企画の概要

1. 企画コンセプト

1. 「**会社の成長と自らの成長・働きがい**」を求めて
～活躍しやすい環境・より良い将来の展望を持ち得るように～
【キーワード】
 - ①若手が活躍しやすい職場環境
 - ②ワークライフバランスの向上
 - ③柔軟で働きやすい職場
 - ④生産性向上 など
2. われわれを取り巻く**課題の洗い出しと解決策**の模索
講演を参考に
 - ①今回のテーマを絞る
(キャリアとライフイベントを踏まえた阻害要因、
個人でやるべきこと、会社・協会としてすべきこと)
 - ②課題への取り組み方針を考える
 - ③協会内社員の情報交流方法を考える

2. プログラム（概要）



Ⅲ. 企画・運営

企画及び運営は、関西支部の事務局、人材確保特別部会及び下水道部会の実行委員会メンバーで行った。

Ⅳ. 企画の実施内容

1. Stage I：本企画の説明

Stage II：オリエンテーション

Stage III：チーム自己紹介

本企画会の開催にあたっての目的・ねらい、タイムテーブル、チーム討議の方法等の説明を行った。

受講者を4チームに分けた上で、メンバーの役割分担、チーム名を決め、チーム紹介を行って具体的な企画活動を行う前の準備やチーム内の雰囲気作りを行った。

【チーム名】

チーム1：FS6	6名	
チーム2：オリニュー水設計「極技S」	7名	
チーム3：チェンジ	7名	
チーム4：直行直帰	7名	参加者総数 27名

2. StageⅣ：講師講演

講師 3 名（増田葉子社会保険労務士事務所 宮田亜紀子さん、関東支部 三迫さん、関西支部 田中さん）の方から、

1. で示した 4 つのキーワードを交えて本企画に関するテーマで講演していただいた。本企画の一連のステップのスタートポイントであり、①あるべき姿→②現状の問題を認識し、次のステップ③現状の問題→④原因・問題点→⑤課題→⑥解決策へ向けてのテーマの設定の方向性を考える貴重な参考となる講演であった。



写真－1 宮田さんからの講演風景



写真－2 昼食時にも他社との情報交換を行っている様子

3. StageⅤ：チーム討議

◆Round①：講演を踏まえた各チームのテーマ設定

『「会社の成長と自らの成長・働きがい」を求めて

～活躍しやすい環境・より良い将来の展望を持ち得るように～』という「あるべき姿」について討議するために、講演を参考に各チームで本日のテーマ設定のためのディスカッションを行ない、テーマ設定とその設定理由を整理し、各チームで発表を行った。

チーム1	FS6	チーム2	オリニュー水設計「極技S」
テーマ	チームワーク	テーマ	生産性向上
設定理由	チーム(上司、担当者)のコミュニケーション、雰囲気作りが大切 考えこむ時間の有効活用 上司から部下に問いかける体制が望まれる	設定理由	あるべき姿として残業は少なく しかし、受注額確保は必要 能力による偏りを解消することが必要 初めての業務などフォーマットがない
チーム3	チェンジ	チーム4	直行直帰
テーマ	コミュニケーションの円滑化	テーマ	早く帰るための意識づけ
設定理由	業務の二極化 仕事の偏り(ベテラン、若手) 二極化を認める機会が不足している 円滑なコミュニケーションのために フリーアドレス化 色々な意見の集約	設定理由	業務(新規、定型)の標準化ツール 社内での検討推進が必要 若手中心の勉強会は有効 効率的な業務処理円滑化が必要

◆Round②：KJ法を用いた構造化討議

「現状」を踏まえて「問題」「原因」「課題」「解決策」をブレインストーミングで抽出した。その後、簡便な問題構造化技法であるKJ法の手法を用いて抽出結果を整理し、グループの成果として発表を行った。

◆クロージング：各自のコミュニケーション上の課題をディスカッション

最後に、事例を踏まえて、各自の課題についてチームディスカッションと発表を行った。



写真－3 真剣な討議と発表の様子

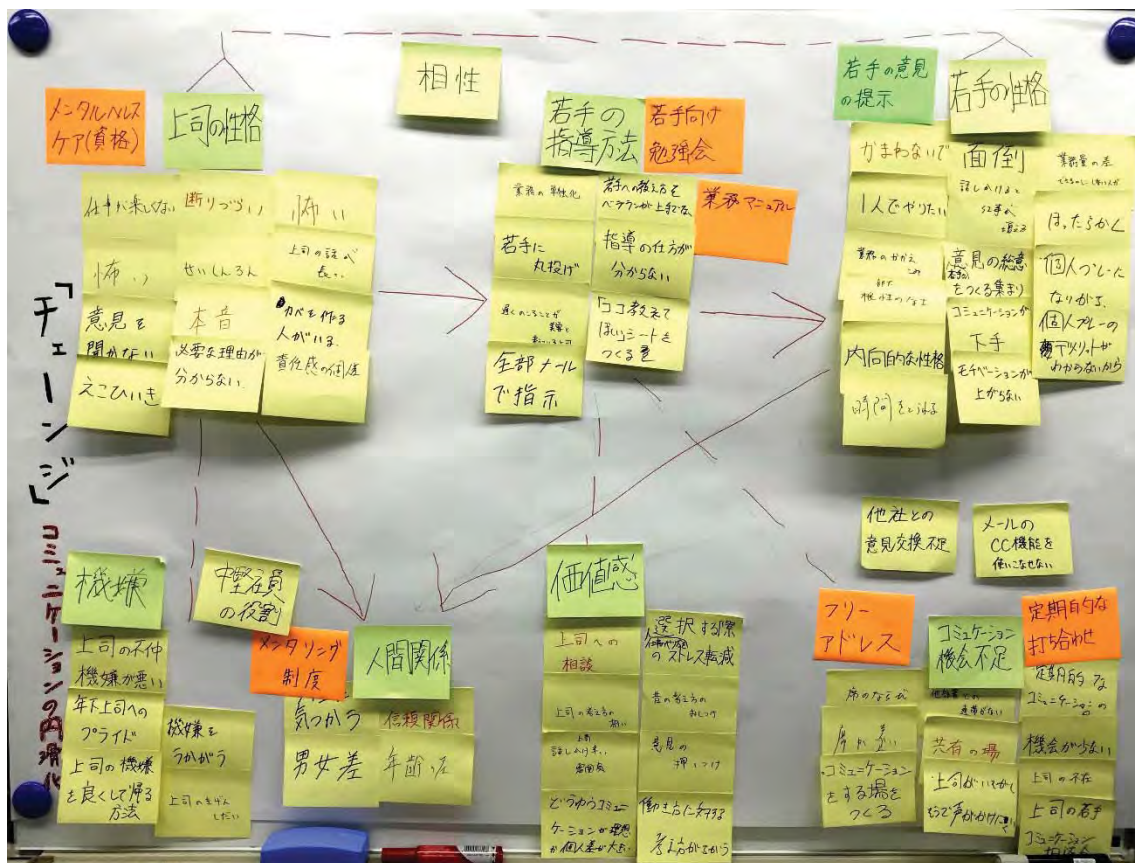


写真-6 【チーム3：チェンジ】のアウトプット
テーマ：コミュニケーションの円滑化



写真-7 【チーム4：直行直帰】のアウトプット
テーマ：早く帰るための意識づけ

V. 本企画の総括

本企画では、前述のコンセプト 1 つ目の“「会社の成長と自らの成長・働きがい」を求めて～活躍しやすい環境・より良い将来の展望を持ち得るように～”と 2 つ目の“われわれを取り巻く課題の洗い出しと解決策の模索”を掲げて開催された。講師の講演を参考にし、各チームでテーマを絞り、課題への取り組み方針を考えて、働き方改革や生産性向上への取り組みについて長時間にわたり討議され、各チームのクロージングのアウトプットで“解決策の方向性”が見出せたと考えている。

全体を通して

- ・参加者が「講師講演」を参考に討議テーマを自らの経験に重ね、より身近な問題としてリアリティをもって実感できたものと考えられる。
- ・ブレインストーミングとKJ法などの課題構造化手法を用いて、参加者自身が積極的に本企画へ参加するカリキュラム編成ができた。
- ・グループ討議ではどのグループでも活発なやり取りが見られ、多彩な切り口で成果をまとめていた。またグループ発表では全員が明るく個性的なプレゼン能力を発揮できた。
- ・水コン協会員各社は、それぞれ企業風土が違うと思われるが、若手社員の感じ方は共通するところが多く、他社との意見交換を通じて、日頃悩んでいることを再確認する貴重な場を提供できたことは、意味のある企画であった。

など、ほぼ企画の目的は達成できたと考えている。



写真－8 講師、アドバイザーの皆様

チーム討議 Round②頃からは、水コン協本部より細谷総務委員長も視察のために参加され、最後に全体の講評もいただきました。



写真－９ 全員記念撮影

Ⅵ. 懇親会

本企画終了後、近くのレストランで懇親会の場を設け、講師・実行委員・事務局も含め 37 名が参加し、お酒を酌み交わしながらの食事で盛り上がった。参加者からは、総じて“良かった”“継続してほしい”などの意見が多く聞かれ、会社の垣根を越えて「コミュニケーション」を図ることができたものと思われる。

Ⅶ. 今後の課題

今回の企画は、去年の「女性懇談会」の経験を活かして関西支部独自に開催することができたが、人材確保支援のため継続的な実施を目指すこととし、今後、議論すべきテーマや企画内容の充実など、ワーキンググループなどの体制を整えることが課題と言える。

<参 考 資 料>

平成30年度

若手懇談会アンケート結果概要

ご参加いただいた、27名のうち、24名の方からアンケートの提出をいただきました。

1. 若手懇談会について

- 対象を若手に限定したため、20代が2/3、30代が1/3でした。
- 今回は関西支部以外からの参加はありませんでした。
- 職種内訳は、技術職が92%、事務職が8%でした。
- 案内を見て参加された方が1名、上司の指示での参加が22名でした。
- 講習会等に初参加が46%、2回目が25%、3回以上が29%でした。

2. 懇談会の内容について

- 講師講演は100%参考になったと好評で、自由記述も14名あった。
- チーム討議も100%参考になったと好評で、自由記述で10名から好評価、1名から少し漠然としていたとの評価もあった。
- 懇談会全般としても、100%参考になったと好評であった。
- 時期については、1/4の参加者が6～9月の方が良いと回答した。
- 長時間の研修であったが、100%の参加者が「ちょうど良い」と回答。
- 今回のチーム討議方式は講義のみの方式に比べて好評価であり、他社の同世代とのつながりや、活発な意見交換ができたことが特に評価され、今後の継続を望む声が多かった。

3. 関西支部のホームページについて

- 1回／月以下の頻度なら閲覧したことがあるとの回答が65%で、35%は、「見たことがない」か「知らない」と答えている。

平成30年度 若手懇談会 アンケート集計結果一

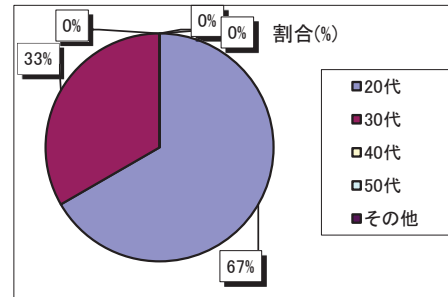
実施日：平成31年4月23日（火）

◆ 若手懇談会について

1- (1) : 年齢

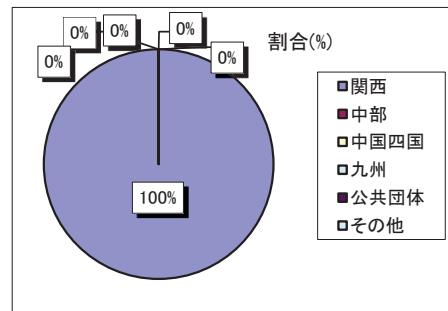
年代	人員 (人)	割合 (%)
20代	16	67%
30代	8	33%
40代	0	0%
50代	0	0%
その他	0	0%
計	24	100%

*無回答...無し



1- (2) : 所属

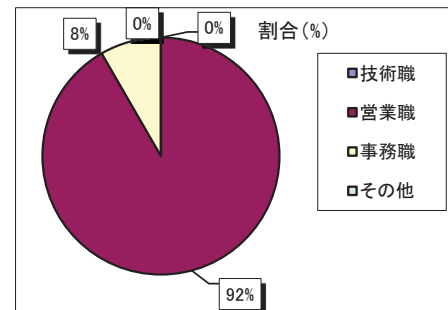
支部	人員 (人)	割合 (%)
関西	24	100%
中部	0	0%
中国四国	0	0%
九州	0	0%
公共団体	0	0%
その他	0	0%
計	24	100%



1- (3) : 会社で従事している職種

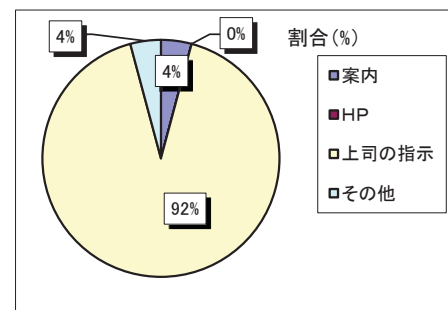
職種	人員 (人)	割合 (%)
技術職	22	92%
営業職	2	8%
事務職	0	0%
その他	0	0%
計	24	100%

*無回答...無し



1- (4) : 出席動機

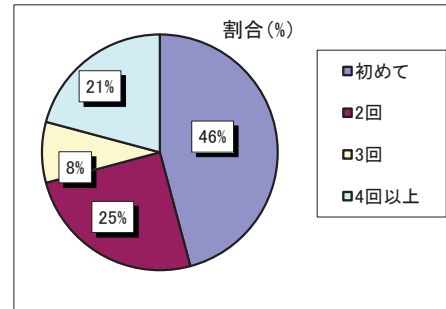
動機	人員 (人)	割合 (%)
案内	1	4%
HP	0	0%
上司の指示	22	92%
その他	1	4%
計	24	100%



1- (5) : 参加回数

回数	人員 (人)	割合 (%)
初めて	11	46%
2回	6	25%
3回	2	8%
4回以上	5	21%
計	24	100%

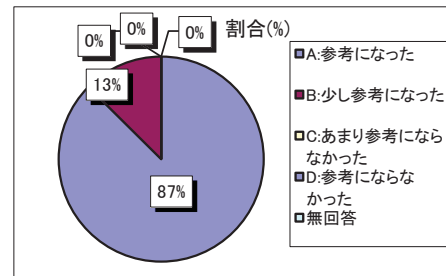
*無回答・・・なし



2- (1) : 個別内容評価

① 講師の講演

ランク	人員 (人)	割合 (%)
A: 参考になった	21	87%
B: 少し参考になった	3	13%
C: あまり参考にならなかった	0	0%
D: 参考にならなかった	0	0%
無回答	0	0%
計	24	100%

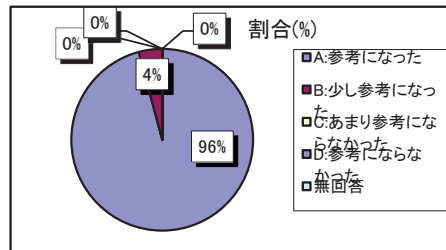


【参考になった点、ならなかった点】

- ・ 実際の取り組みが理解できた。
- ・ 参考になった。
- ・ 他社の取り組みを知るよい機会だった。
- ・ 社労士の方やオープンオフィス導入事例は貴重だった。
- ・ フリーアドレスなど他社事例を知ることができた。
- ・ 実例もあり非常にわかりやすかった。
- ・ ”働きやすい環境とは”が理解できた。
- ・ ソフト、ハード面でよくわかった。
- ・ フリーアドレス化の経緯・方法が理解できた。
- ・ 宮田さんの講演が勉強になった。(WLBの本質を知ることができた。)
- ・ 働き方改革の重要性が理解できた。
- ・ 三迫さんの話は特に具体的でよかった。
- ・ キャリアの考え方が理解できた。
- ・ 多様性についての会社、個人の視点が理解できた。

② チーム討議

ランク	人員 (人)	割合 (%)
A: 参考になった	23	96%
B: 少し参考になった	1	4%
C: あまり参考にならなかった	0	0%
D: 参考にならなかった	0	0%
無回答	0	0%
計	24	100%

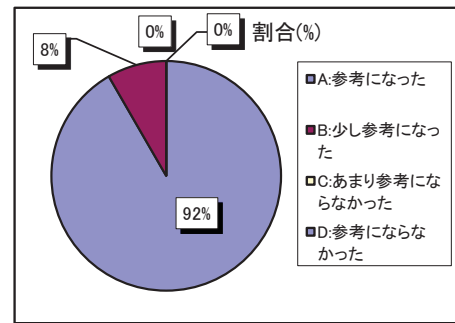


【参考になった点、ならなかった点】

- ・ 色々な意見を聞けてよかった。
- ・ 色々な方と関わってよかった。
- ・ 討議内容がやや漠然していた。
- ・ 他社同世代と交流ができた。
- ・ 理論的な討議の進め方が非常に勉強になった。
- ・ 他社の意見、取り組みがわかった。
- ・ 意見交換できた。
- ・ 他社のWLBに対する取り組みを知ることができた。
- ・ 他企業の内容を聞くことができた。
- ・ 色々な取り組みを知ることができた。
- ・ 多様性についての会社、個人の視点の観点について理解を深めるよい機会だった。

③ 懇談会全般

ランク	人員（人）	割合（%）
A:参考になった	22	92%
B:少し参考になった	2	8%
C:あまり参考にならなかった	0	0%
D:参考にならなかった	0	0%
無回答	0	0%
計	24	100%



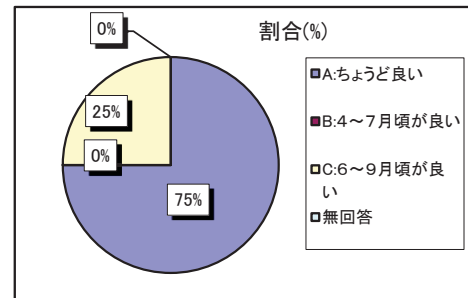
【参考になった点、ならなかった点】

- ・グループワークで色々な意見が聞けた。
- ・社外の意見が聞くことができた。
- ・働きやすい環境にしていけるために言及できてよかった。
- ・職場環境改善の各社の取り組みがわかった。
- ・横のつながりができた。
- ・貴重な機会だった。
- ・同業者の若手社員の意見は賛同できるものが多かった。
- ・新たな考え方が増えた。
- ・他社の方々と交流できるよい時間だった。

2-（2）：講習会の時期について

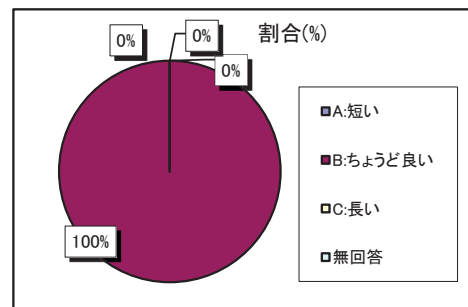
1) 開催時期について

ランク	人員（人）	割合（%）
A:ちょうど良い	18	75%
B:4～7月頃が良い	0	0%
C:6～9月頃が良い	6	25%
無回答	0	0%
計	24	100%



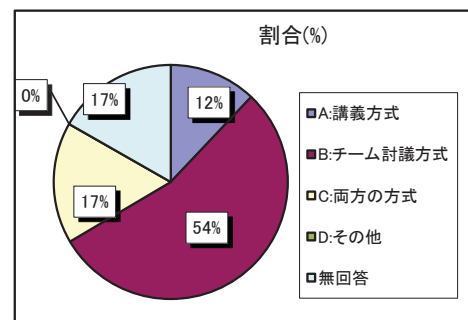
2) 懇談会の時間について

ランク	人員（人）	割合（%）
A:短い	0	0%
B:ちょうど良い	24	100%
C:長い	0	0%
無回答	0	0%
計	24	100%



3) 懇談会の方式について

ランク	人員（人）	割合（%）
A:講義方式	3	12%
B:チーム討議方式	13	54%
C:両方の方式	4	17%
D:その他	0	0%
無回答	4	17%
計	24	100%



2- (3) : 若手懇談会全般について (意見、要望等)

- ・ 他社の方とのつながりができてよかった。
- ・ 比較的近い世代が多かったので話す安かった。
- ・ 他社の取りくもや働き方に対して間がる機会があり良かった。
- ・ 非常に勉強になった。
- ・ 若手のつながり、同じ職種、同じ部門のつながりはこれからも参加したい。
- ・ 今後も続けてほしい。
- ・ 今回のようなGW形式だと活発な意見が出て非常によい。
- ・ 今回のテーマは非常に有意義だった。
- ・ よいテーマで参考になった。

◆ 関西支部の活動について

1 : 若手懇談会や来年度以降の関水コン技術講座の希望テーマ

- ・ 技術士受験対策
- ・ WLBについて学びたい。
- ・ プレンストーミング以外の意思決定方法を実施したい。
- ・ ノー残業ダイについて

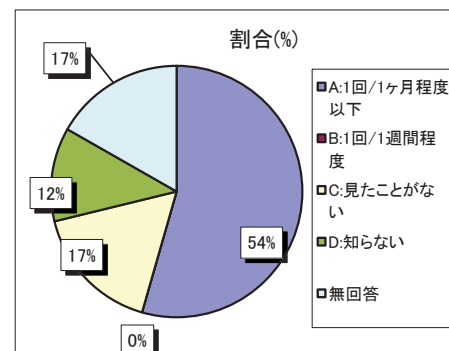
2 : 支部活動全般について希望・要望

- ・ 清掃活動
- ・ 今後もこのような会を設けて頂きたい。
- ・ ノー残業ダイについて

3 : 関西支部のホームページについて

(1) : ホームページの閲覧頻度

ランク	人員 (人)	割合 (%)
A:1回/1ヶ月程度以下	13	54%
B:1回/1週間程度	0	0%
C:見たことがない	4	17%
D:知らない	3	12%
無回答	4	17%
計	24	100%



(2) : ホームページの意見・要望

- ・ 見たことがない。

参加者名簿

1班				2班			
氏名	所属	職種	経験年数	氏名	所属	職種	経験年数
高原達矢	極東技工	技	9	井上吏章	オリジナル	技	3
朝見周平	東京設計	技	3	植田壮祐	極東技工	営	8
橋本昂弥	中日本	技	2	吉田恵輔	三水	技	4
登尾吉宗	浪速技研	技	6	徐傑	東京設計	技	3
倉田啓司	日本水工	技	4	三浦玲雄	浪速技研	技	1
吉本知美	ニュージェック	技	2	酒井雄平	NJS	技	6
				樽井紀和	ニュージェック	技	5
3班				4班			
氏名	所属	職種	経験年数	氏名	所属	職種	経験年数
上田知香子	オリジナル	技	2	小林茂央	オリジナル	技	8
畠中崇志	三水	営	6	米谷直晃	三水	技	1
鳥巢勇二	中日本	技	7	平石直也	東京設計	技	8
永田仁	NJS	技	6	原田尚慶	中日本	技	6
柴田峻太郎	日水コン	技	3	三好宏平	浪速技研	技	1
清水康平	日本技術サ	技	3	瀬川奈美	日水コン	技	5
池田直樹	ニュージェック	技	4	小暮元輝	日本水工	技	3

計 11 社、27 名

協会役員名簿

氏 名	役 職 名	会社名
北 秀文	全国上下水道コンサルタント協会 関西支部 支部長	(株)三水コンサルタント
細谷 守生	全国上下水道コンサルタント協会 総務委員会 委員長	(株) N J S

実行委員・講師名簿

氏 名	役 割	会社名
滝澤 茂	実行委員長（関西支部）	(株)日水コン
秦 稔明	副実行委員長 進行（関西支部）	日本水工設計(株)
佐々木 隆	主講師（関西支部）	日本水工設計(株)
依藤 弘志	アドバイザー（関西支部）	(株)ニュージェック
大塚 亮介	実行委員（関西支部）	(株)日水コン
波戸 友香	実行委員（関西支部）	(株)三水コンサルタント
本田 祐介	実行委員（関西支部）	(株)ニュージェック
増田 葉子	アドバイザー	増田葉子社会保険労務士事務所
宮田 亜紀子	講演講師	増田葉子社会保険労務士事務所
三迫 陽介	講演講師（関東支部）	(株)日水コン
田中 博明	講演講師（関西支部）	オリジナル設計(株)